

令和4年度「まちづくり懇談会」意見交換概要

1. 開催概要

今年度のまちづくり懇談会は、10月27日から11月25日の期間中、市内9会場にて開催し意見交換を行いました。

主催者挨拶、名寄市長挨拶の後、市からのお知らせ5件を報告いただき、意見交換を行いました。その後、日頃の市政に対する質疑・要望などについて、市の各担当部局からご回答をいただきました。

開催にあたり新型コロナウイルス感染症予防の観点から、入場の際の検温と手指の消毒、マスクの着用を徹底したほか、30分に一度を目安として会場内の換気を行うなどの感染症対策を講じながら実施しました。

各会場での参加状況や皆様からの質疑・要望については次のとおりです。

2. 開催次第

1. 開 会

2. 主催者挨拶 名寄市町内会連合会会長 中 村 雅 光

3. 市 長 挨 拶 名寄市長 加 藤 剛 士 様

4. 市からのお知らせ

- 1) 令和3年度名寄市の台所事情
- 2) 年末年始の休日の変更について
- 3) コミュニティバス西まわり線の減便について
- 4) ピヤシリスキー場リフト利用料金及びなよろ温泉サンピラー利用料金の改定について
- 5) 名寄市企業立地促進条例の特例に関する条例の制定について
- 6) その他

5. 意見交換

市政への提言・意見・質問など

6. 閉 会

3. 開催日時・会場及び参加状況

日時	会場	参加者数	備考
10月27日(木) 18:30~	名寄市役所名寄庁舎4階大会議室	25人	
10月28日(金) 18:30~	名寄東小学校2階多目的ホール	13人	
11月11日(金) 13:30~	智恵文多目的研修センター2階大集会室	8人	
11月11日(金) 18:30~	総合福祉センター1階多目的ホール	25人	
11月15日(火) 13:30~	市民文化センター1階大会議室	15人	
11月21日(月) 18:30~	東風連子供と老人福祉会館	21人	
11月24日(木) 13:30~	風連日進コミュニティセンター	18人	
11月24日(木) 18:30~	風連瑞生コミュニティセンター	21人	
11月25日(金) 18:30~	ふうれん地域交流センター大ホール	22人	
参加者合計		168人	

4. 懇談会質疑内容

質疑項目

I 令和3年度名寄市の台所事情

II 年末年始の休日の変更について

III コミュニティバス西まわり線の減便について

IV ピヤシリスキー場リフト利用料金及びなよろ温泉サンピラー利用料金の改定について

V 名寄市企業立地促進条例の特例に関する条例の制定について

I 令和3年度名寄市の台所事情

(1) 健全な財政運営について【11/11 総合福祉センター】

毎年の収支決算が赤字になっていないことは理解するが、市債残高が400億円近くある。国債を発行する国の姿勢を地方自治体が追随することは、今後考えなければならないのでは。

回答：総務部長

令和3年度の決算は黒字となり、基金も増えて市債残高も減らすことができた。しかし、地方交付税など国に依存していることは事実であり、老朽化した施設を現在と同じ規模で建て替えると100億円ほど必要となり、厳しい状況と認識している。健全な財政運営となるよう努めたい。

回答：副市長

老朽化した施設は複合化したとしても大変な金額となる。一方で資料にあるように、令和3年度決算では市債残高を15億円ほど減らすことができた。これは、返す以上には借りないという財政規律によるものだが、これからも借金と貯金のバランスをコントロールしていきたい。

II 年末年始の休日の変更について

III コミュニティバス西まわり線の減便について

(1) 公共交通の維持について【11/11 総合福祉センター】

新聞報道で西まわり線の減便について知ったが、市としてどう考えるかをもう少し説明があるべきでは。

回答：副市長

名寄市地域公共交通活性化協議会の専門部会で議論をしたが、減便の理由が運転手不足であり行政としても容認をせざるを得なかった。今後は、乗り合いでAIにより最適ルートを実行するオンデマンド交通など、ニーズや経費の面で名寄市に適した交通の検討を進めたい。

回答：市長

公共交通は利便性と公費を投入するメリハリが必要であり、今後は必要な場所にピンポイントに移動できるようにオンデマンド化へのシフトを検討したい。また、コンパクトシティ化や公共施設再配置など、拡大した市街地を集約する取り組みに対して効果的な公共交通となるようを進めていきたい。

(2) 農村部や高齢者の移動手段確保について【11/21 東風連子供と老人福祉会館】

東風連地区でデマンドタクシーが運行されているが利用が伸びていない。札幌市手稲区や室蘭市など様々な地域で、運転手不足への対応策としてMaasやインターネット予約によるデマンド交通の導入が進んでいる。名寄市でも農村部や高齢者の移動手段の確保を早急に取り組んでいただきたい。

回答：副市長

デマンド交通は会社によって様々な形態があり、路線や時間を決めて運行しているものもある。効果的な方法となるように研究していきたい。

(3) 徳田地区へのバス路線について【11/24 風連瑞生コミュニティセンター】

徳田方面にショッピングセンターがあるため、徳田地区へのバス路線を考えてはどうか。

回答：総合政策部長

イオンバスはイオン北海道とバス運行事業者により運行しており公共交通の側面を担っている。今後、より乗りやすい公共交通を考えていきたいので、ご助言をいただければと思う。

Ⅳピヤシリスキー場リフト利用料金及びなよろ温泉サンピラー利用料金の改定について

(1) 宿泊利用料金について【10/27 名寄庁舎】

宿泊利用料金の比較表に閑散期、通常期、繁忙期、特別期と記載されているが日付が書かれていないため、いつからいつまでかわからない。市民に対して丁寧に説明するべきと思うがどう考えているか。

回答：経済部長

日付については細かく設定されているために資料に記載することが出来なかった。市民の皆さんにより知っていただくために、今後、なよろ温泉サンピラーのホームページなどでわかりやすくお知らせしたい。

(2) 宿泊利用料金について【11/11 総合福祉センター】

温泉がリニューアルされたが、換気扇が大きくなり寒いとの声を聞く。強弱などの調節ができないものか。

回答：副市長

そのような声は他にも聞いているので、浴室内の温度をどのように上げるか考えたい。

Ⅴ名寄市企業立地促進条例の特例に関する条例の制定について

(1) 王子マテリア名寄工場跡地の利活用について【11/15 市民文化センター】

王子マテリア名寄工場跡地にはゴミを燃やす廃熱や太陽光を利用して温浴施設を整備してはどうか。大学生の働く場所の確保にもつながる。温浴施設が整備されることで、名寄市は稚内市までの中間地点として宿泊客の利用も見込まれるのでは。

回答：総合政策部長

跡地利用として、再生可能エネルギー、物流・防災拠点、IoT データセンターの3本柱を中心に検討している。そのうち再生可能エネルギーについてはバイオマス発電の実施と、発電したエネルギーを地域で消費できるように取り組んでいる。

回答：副市長

ゴミを燃やす廃熱利用については、中間処理施設整備にあたってお湯を沸かせるだけのゴミが集まらない状況であることをご理解いただきたい。

回答：市長

稚内市までの中間地点としての拠点となることへのご提言だと受け止める。今後、士別と名寄間の高規格道路が整備されることで札幌市との距離が非常に近くなり、王子マテリア名寄工場敷地の利活用と併せて、名寄市が物流と観光の拠点となるよう検討していきたい。

(2) 倉庫の扱いについて【11/21 東風連子供と老人福祉会館】

敷地内にある倉庫は解体されるのか。道北なよろ農協の倉庫として活用してはどうか。

回答：総合政策部長

跡地利用を希望する事業者が倉庫を利用する可能性があるため、解体は計画されていない。道北なよろ農協へも情報提供したい。

(3) 敷地の土壌汚染の可能性について【11/24 風連日進コミュニティセンター】

長年の工場としての使用による土壌汚染の可能性と調査予定があるか教えていただきたい。

回答：市民部長

王子マテリア所有の土地であることから市による調査予定はない。事業が実施される場合には調査がされることと思う。

IV 市政への提言・意見・質問など

(1) 小中学生への自転車利用時のヘルメット着用推進について【10/27 名寄庁舎】

過去には小中学校へ自転車利用時のヘルメット着用推進運動を取り組まれていたが、最近は取り組みが低下しているように感じる。他の自治体ではヘルメット購入に対する補助制度が導入されており、市でも着用推進に取り組んでいただきたい。

回答：教育部長

各学校ではヘルメット着用について指導しているが、保護者の皆さまのご理解が必要であることから、各関係機関と連携し、着用について呼びかけをしていきたいと考えている。

回答：市民部長

普段から登下校時において指導員が安全な通行の保護・指導をしているが、教育部とも連携してどういった形が望ましいか協議したい。また、ヘルメット購入への補助制度についても他自治体の事例を調査したい。

回答：副市長

命に関わる問題であり蔑ろにできないので、他自治体の事例と予算的な部分も考えながら次の段階に移ることができるよう考えていきたい。

(2) 大通の中央分離帯の木について【10/27 名寄庁舎】

交通安全に関連して、大通の中央分離帯の木によって見通しが悪いので、部分的に木を取り除くなどの対応をお願いしたい。

回答：建設水道部長

まずは現地を確認して、木を剪定するか、小さな木に植え替えるかなど対策を検討したい。

(3) 市職員の資質向上について【10/27 名寄庁舎】

市職員の中でも特に係長職は市の権限業務だけではなく、北海道権限の業務についても理解を深めて、窓口で適切に市民対応できるよう部長や課長から指導していただきたい。

回答：総務部長

市役所全体で係長級の年代が若返っており、業務が細分化していることから、横の連携を大事にして、研修なども活用しながらスキルアップに努めたい。

回答：副市長

市民の皆さまに的確にご対応できるように研修も活用しながらチームワークで業務にあたるように指導していきたい。

（４）市職員と地域との連携について【10/27 名寄庁舎】

職員が直接、現場を見る機会が減っていると感じる。現場で何が起きているかを地域と共有していただきたい。また、市長には道北の首長や議員が集まって、農業や商業など道北の共通の課題に対して連携して取り組んでいただきたい。

回答：総務部長

出来るだけ現場に行くように努めているが、外勤の機会なども活用してより一層、地域の情報を共有できるように指導していきたい。

回答：市長

現場や地域で何が起きているかを知るために効果的な方法を実施したい。現在、DX化の推進で仕事のあり方を急速に変えていくように取り組んでいる。このことにより都会と遜色ないサービス提供や課題解決につなげるとともに、単純な業務は機械化することで、市民の皆さんと対話を増やすことにつなげたい。また、他地自体との連携については、上川管内4市連携会議を立ち上げたので、都市ならではの課題について議論を深めていきたい。

（５）マイナンバーカードについて【10/28 東小学校】

国はマイナンバーカードの交付率を高めようとしており、自治体の交付率によって地方交付税に濃淡を付けるとのことだが、どのように考えているか。

回答：市民部長

マイナンバーカードは平日、名寄庁舎と風連庁舎で交付しており、9月末現在の交付率は約46%。北海道の平均とほぼ同程度であるが、国の平均49%をやや下回っている状況。カード取得のメリットについてPRをしながら申請受付の取組みをしている。

交付率による地方交付税の濃淡については、まだはっきりとした形がわからないため、具体的なものが示された段階で対応を協議したい。

回答：総務部長

現在はマイナンバーカードを使用する機会は少ないが、今後は保険証や免許証など行政手続きで使用する機会も増えてくることとなるため、国の動向を注視しながら普及に努めたい。

回答：副市長

市の歳入の約4割を地方交付税が占めており、地方の生活を担保するものがマイナンバーカードの普及率で変わることはおかしいと考えている。デジタル田園都市推進交付金についても普及率によって濃淡が出るとの情報もあり注視していきたい。今後は交付率向上に向けて、出張窓口の必要性についても踏み込みながら取り組みたい。

(6) 防犯について【10/28 東小学校】

国道緑丘 16 線から 17 線まで街路灯がなく、子ども達から歩くことが怖いとの声を聞く。ニセアカシアが歩道まで茂ってきており、夜は街灯がないため足元が見えずに大変危険な状況である。2 年前から市へ要望しているが動きがないため士別道路事務所へ確認したところ、市から話が来ていないとのこと。市から国へ効果のある要望をしていただきたい。

回答：建設水道部長

市におきましても、開発建設部への要望を行ってきておりますが、再度状況を確認いたします。その後、設置可能・不可など進捗状況についても確認をとり、わかり得た段階の情報を皆さまにお示しするよう努めたい。

(7) 名農キャンパス閉校後の広大な農地。施設の活用について【10/28 東小学校】

緑丘町内会の北側には 4ha 以上の林野があり、南西側には 40ha 以上の農地や施設がある。今は職員が管理しているが、2 年後には閉校されると荒地になることが予想される。また、帰化植物のアザミも生えてきている。空き家も増えており、マチ中がクマやキツネ、シカなどの小動物が棲む場所になると市民が安心して暮らせない。北海道に利活用の要望をしているとのことだが、市からも方針を打ち出して提案するなど取り組んでいただきたい。また、農業高校は防災マップで避難場所となっているが、閉校後にも避難できるのか検討していただきたい。

回答：市長

跡地利活用については、北海道の若手職員が閉校後の跡地利用のモデルケースとしてフィールドワークをしている。検討案の発表を聞いたが、様々なアイデアやユニークでエビデンスに基づき真剣に考えられている。そこに地元と市も連携して民間のアイデアも募りながら、有効に活用できるよう取り組んでいきたい。

空き家は一義的には所有者が管理するものだが、市内にいない方へは粘り強く対応して、危険性高い物件にはもう少し強い措置を取りたい。

(8) LED 防犯灯の整備について【10/28 東小学校】

今年、蛾の一種であるクスサンが大量発生して水銀灯に集まっていた。LED 灯には集まらないとのことなので、市で整備を進めていただきたい。

回答：市長

市内には 4,000 灯の防犯灯があり、そのうち 600 灯が水銀灯である。水銀灯が製造中止となったため LED 灯への交換が進んでいくこととなる。今年、LED 灯への整備について現地調査を行い整備計画を立てているのでご理解いただきたい。

(9) LED 防犯灯の整備について【10/28 東小学校】

私の会社に市外の自治体の公営住宅から通勤している職員がいるが市の公営住宅へ住むことは可能か伺う。

回答：建設水道部長

公営住宅の入居基準には収入などの要件もあるため、まずは建築課にお問い合わせいただきたい。

回答：総合政策部長

市外からの移住については協議会があり、首都圏へアプローチしている。就業や労働力確保は、ハローワークに出すだけではなく、求人会社とも連携して、いかに情報を伝えることができるか勉強していきたい。

(10) 豊栄川への鮭の遡上について【10/28 東小学校】

王子マテリア名寄工場がなくなり豊栄川に鮭が上ってきているが、死骸も増えている。誰が処理をするのか教えていただきたい。

回答：建設水道部長

鮭が遡上している箇所は北海道が管理する河川であるが、まずは現場状況と、北海道と市でどのように対応するか確認したい。

(11) 子育て支援について【10/28 東小学校】

札幌市では子育て支援金を支給する取り組みがされていると聞くが、名寄でも同様の支援金を行うことで子育てしやすいマチであると印象付けて、人を呼び込めるのでは。

回答：市長

名寄市でも物価高騰への対策として、高齢者などを対象に1世帯当たり1万2千円の支給や、非課税世帯への支援として5万円、また子育て世帯で国の給付事業の該当にならない18歳未満の子どもがいる世帯へ子ども1人当たり2万円を給付することを9月の定例会で決まり、該当する方に周知されると思うが、今後も子育て支援の政策をしっかりとやっていきたい。

(12) 大手新聞への名寄市の情報掲載について【10/28 東小学校】

大手新聞に名寄市の情報があまり掲載されていないように感じる。名寄市の特集など組んでいただけるようにしていただきたい。

回答：市長

こちらから新聞社へ行政情報などを提供して、これまで以上に掲載していただけるように取り組みたい。

(13) 工事を実施する際の地元周知について【11/11 智恵文多目的研修センター】

北海道発注の天智橋の工事が行われているが、夜間通行止めをする際に住民説明会を開催せずに、チラシ配布による周知のみだった。地域住民に失礼と感じた。また、川の工事を実施すると渡れなくなることもあるので、事前に地域全体に情報が欲しい。

回答：建設水道部長

工事発注者である北海道へ状況を伝えたい。川の工事についても、このようなことがないよう事前情報提供に努めてまいりたい。

(14) ヒグマ対策と情報提供について【11/11 智恵文多目的研修センター】

民家の近くにあるデントコーン畑にヒグマが出没した際に、市は動向の観察や看板設置の対応をとっているが、駆除や家の近くにヒグマが来ないように対応をお願いしたい。
また、複数の箇所にも圍場を持っている人もいるので、ヒグマが出た場所だけではなくすべての地区に情報を送っていただきたい。

回答：経済部長

ヒグマ出没の情報提供があった際には、まずは猟友会の方と現地確認して注意喚起と情報提供をしている。また、生産者の皆さんには電気柵の設置をお願いしている。出没後は、巡回を実施し警戒にあたりますが、野生動物保護の観点から必ずワナを設置するわけではなく、出没を繰り返すなど問題がある場合にワナの設置を基本としているのでご理解いただきたい。情報提供のあり方については、多くの方に伝わる方法を検討したい。

(15) 公共交通について【11/11 智恵文多目的研修センター】

来年度に智恵文地区のスクールバスが無くなっても、医療バスは維持されるとのことだが、今後は免許返納者への対応もあることからオンデマンド化など智恵文地区においても公共交通について会議など開催をお願いしたい。

回答：副市長

デマンド交通にもメリット・デメリットがあるため、地域の声をいただきながら智恵文地区にふさわしい方法を進めたい。

(16) 新設高校について【11/11 総合福祉センター】

来年度に新しい高校が設置されるが、現在多くの子どもが旭川などの高校へ進学していることへの対策を教えていただきたい。

回答：教育部長

令和5年度に再編統合される新設校は市内に唯一の高校となるため、魅力化推進委員会を立ち上げ新設校の情報を資料やSNSを通じて市民の皆様にお知らせしている。

回答：市長

これまで高校に対して地域がコミットすることが少なかった面がある。今年、商工会議所と名寄高校が連携を結び、生き方や働き方を知ってもらう重要な取り組みを進めることとなった。また、新高校は単位制を導入により市立大学との単位交換が出来るようになる。高校だけでなく、小中学校も含めて地域で出来ることを取り組みたい。

(17) いじめやヤングケアラーについて【11/11 総合福祉センター】

いじめやヤングケアラーについて教育長の考えをお聞かせいただきたい。

回答：教育長

いじめは絶対にゆるされるものではなく、未然防止が大事と考える。そのためには先生が子どもの変化に気づくことが大事であり、各学校の校長には先生たちが安心して働ける環境づくりをお願いしている。

ヤングケアラーについては学校内での発見が難しい面がある。なぜなら子ども自身がヤングケアラーであることの自覚が少なく、行き詰った時点で気付くことが多い。福祉との連携も重要であり、家庭と学校が情報交換をして適切にきめ細かく対応したい。

(18) サンプラー館について【11/11 総合福祉センター】

浅江島公園にある木造の建物はあまり利用されていないようだが、何の目的で設置されている建物なのだろうか。

回答：副市長

平成元年頃に北海道の事業を活用して利雪親雪の目的で整備をした。2階に会議室があり、1階は倉庫には歩くスキーの用具を保管していたが、広さや間取りなどの関係であまり使われなくなった。15年ほど前に利活用について検討したが、都市公園の敷地にあることから活用方法に制限があるなどの理由で現在に至っている。出来るだけ早く地域とも相談して、解体や一部倉庫機能を残すなどを検討したい。

回答：市長

使われなくなった公共施設の解体や利活用は計画的に検討したい。また、我々だけのアイディアだけではなく、皆さんの意見を取り入れながら考えていきたい。

(19) 学校開放事業と換気について【11/11 総合福祉センター】

学校開放事業を利用しているが、窓に板が打ち付けられて換気が出来なくなっている。新型コロナウイルスの対策が求められている中で、これで良いのだろうか。

回答：教育部長

後ほど現場を確認して対応したい。

(20) 市立大学の魅力向上について【11/11 総合福祉センター】

市立大学に学生が来ていただくためには、学問をする場所として質の向上が必要と考える。国家資格の合格率で教員を評価するのではなく、論文や地域とどう結びついて活動しているかを見ていただきたい。

回答：市長

大学の質の向上としては、大学院の設置を検討している。また、地域の課題を大学が解決することで質の向上が図られて学生を呼ぶことにつながるし、経営もしっかりとする。また、質の向上をどうやって見える化していくかも重要で、今後は法人化など組織のあり方を見直して、全国から学生に来ていただける大学にしていきたい。

(21) 医療費の通知について【11/11 総合福祉センター】

年に数度送られてくる医療費の通知の意味と経費を教えてください。また、行政が送付することは義務付けられているのか。

回答：市民部長

医療機関に受診した際の負担金額に間違いがないかを確認する意味で送付している。今後は受け取った方が納得していただける方法も研究したい。

回答：市長

我々が当たり前にやっていることの中に実は無駄なことがあるかもしれない。現在、DX化推進のために業務を点検しており、効率化やスリム化から市民の皆さんの利便性向上につなげたい。

(22) 新型コロナウイルスの感染情報について【11/11 総合福祉センター】

以前は市から情報提供されていた新型コロナウイルスの市内感染状況が、現在はされていない。町内会行事の実施する判断に悩むことがあり、以前のように市内感染状況を知らせていただけないだろうか。

回答：健康福祉部長

国が全数把握をしなくなったことから、市民の皆さんへは市立病院の窓口制限など生活に影響が出る事項はお知らせしている。全数把握をしない状態で、どうお知らせできるか情報の出し方を今一度検討したい。

(23) 第2老人クラブについて【11/15 市民文化センター】

第2老人クラブの玄関は段差のある階段で、スロープが設置されていないことから車椅子の方が利用できない。また、トイレが和式であり高齢者は利用しづらいため洋式に改修していただきたい。

回答：こども・高齢者支援室長

市内の老人クラブは4つあるが、いずれも老朽化が進展している。各箇所を少しずつ修繕しており、優先度を考えながら玄関、トイレなども利用しやすいように改善していきたい。

(24) 危険植物について【11/15 市民文化センター】

市内の空き地に猛毒のある植物が生えている場所がある。道路沿いに生えており、小学生の通学箇所でもあることから駆除していただきたい。

回答：副市長

ここ数年で、これまで生息していなかった植物が増えてきた印象がある。まずは現地を確認して対応したい。

(25) 忠烈布川について【11/21 東風連子供と老人福祉会館】

忠烈布川の防災改修事業について設計が開始されているが、進捗の状況がわからないので教えていただきたい。

回答：建設水道部長

地域へ進捗を報告するように北海道へ要請していきたい。

(26) 独居老人の火災対策について【11/21 東風連子供と老人福祉会館】

独居老人の火災対策として、自動消火装置やガスの元栓を閉める警報装置の設置に対して助成をすることで普及を図っていただきたい。

回答：消防署長

消防署では、火災の早期発見のために住宅用火災警報器の設置と維持、また初期消火のために消火器の設置も推進している。ご提言いただいた装置は有効なものであるため、多種多様な防火対策の1つとして広く市民にお知らせしていきたい。

回答：健康福祉部長

現在は障がいのある方のお住まいへの自動消火装置設置に対して助成をしている。今後は福祉サービス全体を俯瞰しながら参考とさせていただきたい

(27) 市立病院のセキュリティについて【11/21 東風連子供と老人福祉会館】

他地域では、電子カルテデータへの攻撃により診察が出来なくなった病院があると聞く。名寄市立病院のセキュリティの状況について教えていただきたい。

回答：市立病院事務部長

名寄市立病院の電子カルテシステムは外部との通信を遮断しており安全性が確保されているが、今後はバックアップシステムを整備して安全性の向上に努める予定である。

(28) 学校給食と農業系の教育について【11/21 東風連子供と老人福祉会館】

物価高騰により給食費の値上げがされている地域がある。名寄市での給食費の値上げ検討状況と、地元食材のさらなる活用を教えていただきたい。また、市立大学で農業系の勉強ができるようにならないだろうか。

回答：教育部長

給食費については次年度以降、場合によっては値上げを検討する必要もでてくるかもしれない。地元食材は現在も可能な限り活用させていただいており、さらなる活用は難しいと思うが、こうした意見をいただいたことを学校給食会に伝えていく。

回答：市立大学事務局長

市立大学で農業を教えることについては、設備的な面で技術的なことは難しいが、栄養学科の中で食品工学や、農業経営として農作物の流通を教えている。様々なご意見として検討していきたい。

(29) 水害対策と田んぼダムについて【11/21 東風連子供と老人福祉会館】

近年頻発する水害への対策として、市内にある 3,600 m²の水田を活用して田んぼダムを取り入れることを提案したい。市民全体で取り組むために市が指示をして前向きに検討していただきたい。

回答：経済部長

市内の農村地域で先進的に取り組んでいる地域があることは承知している。上流・下流全体での取り組みが必要であり、実際の実施には地域の判断が重要である。河川の増水の状況や降雨量のデータ収集など判断基準となるものがあるか、どの程度の効果かなど田んぼダムの実効性を研究していきたい。

(30) 老人クラブの負担軽減について【11/21 東風連子供と老人福祉会館】

地域の老人クラブが今年解散をした。行政とのやり取りの中で書類作成が負担となっており、役員のなり手がいない状況となっている。もう少し負担感が少ないやり方がいいのでは。

回答：健康福祉部長

老人クラブ連合会と話し合いながら、簡易的に事務手続きできるやり方がないかをご相談させていただきます。

(31) 旧東風連小学校の解体について【11/21 東風連子供と老人福祉会館】

旧東風連小学校はエアコンの実験場として使用されているが、雨漏りがひどい状況である。今後改修にお金をかけるのであれば、解体の方向性が望ましいのでは。

回答：総務部長

解体にはかなりの経費が必要であり、市全体でも老朽化した建築物の解体が進んでいない状況。いただいた意見を内部で検討したい。

(32) 風連日進地区の市道について【11/24 風連日進コミュニティセンター】

未舗装の市道が豪雨によりえぐれた際にグレーダー整備をお願いしているが、雨が降っても傷まないような対策をお願いしたい。

回答：建設水道部長

砂利道補修等での舗装整備は予算の関係上、対応できていない。不具合がありましたら都市整備課へ連絡をいただきたい。

(33) 水田活用の直接支払い交付金について【11/24 風連日進コミュニティセンター】

畔がない場合や今後5年間で米を作らない水田を水田活用交付金の交付対象から外すなど要件が見直されるとのことだが、水田の現場確認の時期を教えてください。

回答：経済部長

現地確認は資料や地図記入などの申出をいただき、必要に応じて畦畔などの状況を現地確認することとなる。畑地への転換も国の支援対象となるため、不明な点があれば相談いただきたい。

(34) 元教員住宅の物置小屋について【11/24 風連日進コミュニティセンター】

元教員住宅やグラウンドの物置小屋が破損しているため対応いただきたい。

回答：総務部長

現地確認をして予算の範囲内で計画的に対応していきたい。

(35) 河川の樹木について【11/24 風連日進コミュニティセンター】

北海道の河川の樹木が巨大化してシカやクマの通り道となっている。枯枝も農地に入ることから北海道に働きかけて対応していただきたい。

回答：建設水道部長

風連別川は北海道に要望を行い、下流から伐採を進めていただいているのでご理解いただきたい。

(36) マイナンバーカード対応機械設置について【11/24 風連日進コミュニティセンター】

市立病院へのマイナンバーカード対応機械の設置を進めていただきたい。

回答：市立病院事務部長

機械自体は確保しており、システム連携業者による設置を年度内に完了したい。

(37) 新型コロナウイルスの情報提供について【11/24 風連日進コミュニティセンター】

北海道全体での感染者数が増加しているが、忘年会開催の判断が難しいため市内の発生状況など情報発信していただきたい。

回答：健康福祉部長

9月27日以降は国でも全数把握しなくなったため名寄市内の詳細な数値がわからない状況となっている。病院の窓口制限など市民サービスが低下する際は周知をさせていただいている。北海道の宣言が出されれば行動制限をお願いするが、現時点ではそのような状況にない。忘年会の開催については状況を見ながら判断していただきたい。

(38) 士別名寄間の高規格道路整備の進捗状況とインターチェンジについて【11/24 風連瑞生コミュニティセンター】

士別名寄間の高規格道路に係る進捗状況や、風連地区へのインターチェンジ設置の見通しを教えてください。

回答：総合政策部長

事業進捗については、国としては予算の状況もありいつまでとは明言できないが、用地買収など順調と聞いている。士別名寄間での無料乗降口は国において設置しない方針であるとのことだが、工事

車両の出入口を活用するなど、地域要望によるインターチェンジ設置の意向は伝えており、前向きに検討いただいている。

(39) スケートリンク場の廃止について【11/24 風連瑞生コミュニティセンター】

スケートリンク廃止後の代替案として、経験者や土木業者などの協力により氷を張ることが出来ないだろうか。

回答：総合政策部長

スケートリンク場の廃止はスケート協会解散の影響が大きく、待合所における新型コロナウイルスの対策が難しい状況も関係している。いただいたご提言については各方面と相談したい。

(40) ふるさと納税について【11/24 風連瑞生コミュニティセンター】

ふるさと納税の実績と納税額を増やすための施策を教えてください。

回答：総合政策部長

当初は1,500万円から2,000万円からスタートしたが、現在は3～4倍まで伸びており、有名な納税サイトなどで上位に公告されるように努めている。

(41) 名寄市公式 LINE の登録ユーザー数について【11/24 風連瑞生コミュニティセンター】

名寄市の公式 LINE の登録ユーザー数を教えてください。

回答：総合政策部長

13,619 件の登録をいただいている。様々な情報が提供されているので、ぜひ登録をお願いしたい。

(42) 空き家対策について【11/24 風連瑞生コミュニティセンター】

放置されている空き家から鉄板などが自分の敷地へ飛んでくるため、農作物への影響が出ている。市でどのような対策を取っているか教えてください。

回答：市民部長

市が空き家の撤去を行うことができないため、所有者に対して対策を取るように連絡をしている。まずは現場を確認させていただきたい。

(43) 広報配布へのデジタル技術活用について【11/24 風連瑞生コミュニティセンター】

広報配布が負担となっており、デジタル技術の活用を検討していただきたい。

回答：総合政策部長

市のホームページでバックナンバーから最新号まで閲覧できるが、スマートフォンなどで WEB の情報が見られない方にどう伝達するかが課題であり、良いアイデアがあればぜひお寄せいただきたい。

回答：総務部長

スマートフォンの所有率は全国で8割となっており、デジタル技術で出来ることと出来ないことを考えながら検討を進めたい。

(44) 水道工事後の地盤沈下について【11/24 風連瑞生コミュニティセンター】

市の水道工事後に地盤沈下を起こしている箇所がある。業者の瑕疵として手直しするならば、工事した翌年の見回りをお願いしたい。

回答：建設水道部長

工事翌年の場合には、瑕疵工事として業者が現状復旧工事を行いますが、工事から年数が経っている場合は、市の道路担当が優先順位を付けながら修繕をしていくこととなるのでご理解いただきたい。

(45) ズミの木並木について【11/24 風連瑞生コミュニティセンター】

旧風連町時代に並木整備をしたズミの木について、景観の活用や今後の展望についてお聞かせいただきたい。

回答：建設水道部長

地域の要望で交差点の木を伐採したり、残してほしいとの意見を伺って対応している。これまでPR活動はしていないが、今後はPR活動も考えていきたい。

(46) 電気代高騰対策について【11/24 風連瑞生コミュニティセンター】

電気代の高騰対策として、家庭用蓄電池購入に対する補助制度はないか。

回答：総務部長

過去に太陽光パネルの設置については補助制度があったが、家庭用蓄電池に対する補助制度は行っていないのでご理解いただきたい。

(47) 合同墓について【11/25 ふうれん地域交流センター】

合同墓について納骨の理由と宗派について伺う。

回答：市民部長

市外の墓から地元の墓へ移行するケースや墓じまいのため合同墓を利用するケースが多い。宗派については把握していない。

(48) 市内スポーツ団体について【11/25 ふうれん地域交流センター】

スポーツ団体の統合を進めているが現状と課題について伺う。

総合政策部のみならず教育部にも関係すると考えるが、庁内議論はされているのか。

回答：総合政策部長

統合検討会議を名寄・風連地区に設置している。当初は年度内に方向性を決定する予定で進めていたが、現在必要な機能などアイデアを出している状況。様々な議論もされているため、年度内にこだわらずなるべく早い段階で方向性を出したい。教育部においては教員の働き方改革を含め、部活動改革を議論いただいている。

(49) DX化とICT農業について【11/25 ふうれん地域交流センター】

DX化が進められている中で、本市においてはICT農業がどの程度進められているか伺う。

回答：経済部長

自動操舵システムやドローンの活用が進められている。市内のICT農業の状況は把握できていないが、JA道北なよろでICT農業の研究会が活動するなど、若い農業者を中心に進められていると認識している。

(50) DX化の取り組みについて【11/25 ふうれん地域交流センター】

市内の光ファイバ回線が整備され、市においてもDX化が進められている。DX化について外部委託していると聞くが、地域の事情を理解している市内や近郊の事業者、市職員で対応すべきではないか。

回答：総務部長

令和3年にデジタル推進室を設置し専任職員を3名配置している。同年10月にソフトバンク職員を特別参与として採用した。

現在、DX推進計画策定中であり、業務の標準化を進めている。計画策定に向けて行政内部の業務量調査を実施した。内部では気づかない専門的な第三者の視点も必要であるため、プロポーザルにより委託事業者を選定して取り組んでいる。

(51) GIGAスクール構想について【11/25 ふうれん地域交流センター】

GIGAスクール構想に基づき、市内小中学校でもタブレットを活用した授業が進められている。端末のトラブルや通信環境が悪いなどの課題もあると聞く。教員に専門知識を求めるのは難しいことから、外部人材の登用が必要と考える。

回答：教育部長

通信環境が悪い学校もあると聞いており、対応方法について検討したい。また、端末のトラブルなどはICT支援員が対応している。

(52) 庁舎建替えについて【11/25 ふうれん地域交流センター】

庁舎の老朽化が進んでいるが、庁舎建替えの議論がなされているか伺う。また、庁舎を一つにする可能性についても伺いたい。

回答：総務部長

公共施設長寿命化計画において、庁舎については修繕により長寿命化を図ることとしている。教育施設など優先すべき施設も多く、順次更新を検討していく。

回答：副市長

10年以内には無理と考える。行政業務においてもDX化が進み必要な機能など、今後大きく変化する。将来的には窓口が不要となるかもしれない。名寄・風連庁舎の機能を分けるという考え方も今後検討する必要がある。

(53) 高規格道路整備後の道の駅の考え方について【11/25 ふうれん地域交流センター】

高規格道路整備後の道の駅のあり方など考え方を伺う。

回答：総合政策部長

今後、高規格道路の開通により人の流れ、車の流れが大きく変化する。本市においては防災道の駅として総合病院、自衛隊駐屯地などがあり広域防災機能の優位性がある。現在、庁内で情報共有する組織を立ち上げ議論している。

(54) 名寄市の基幹産業について【11/25 ふうれん地域交流センター】

名寄市の基幹産業についての市の考えを伺いたい。また、これから人口が減っていく中で市の経済をどのようにしていくかの考えを伺いたい。

回答：市長

名寄市の基幹産業は、間違いなく農業である。この一次産業が持続可能で、さらに付加価値を高めたい産業になれるように様々な角度から努力していかなければならない。

今後、米の消費量がどんどん少なくなっていくかもしれない中で、今の水田の交付金の見直しの話が出てきており、農業政策が大きく転換しようとしている。

これから長い目を見た名寄市の農業のあるべき姿を、今、名寄市農業農村振興計画を策定してる中で議論しているところ。安全保障の観点からも、軍事力だけではなく、エネルギーや食糧の自給率を高めていくということがますます重要になっていく。